

Capo. 6 (1-7il)

Capo. 1 (オ-7°Dm) (D#m)

カウンターテーブル

Am G E7 Am Am G E7 Am

Am Dm G C
さみしいのなら ここに座って

Am Dm G C
隣りあわせで いるだけでいい

Am Dm G C
無理に話(し) 必要もない

Am Dm G C
しけた話は したいほうがいい

Dm C F C
グラスを傾け 思ってることを

Dm C F G Am
お互い気にせず 言いたくなければ 言えばいい

Am G C
大切なことは 向か足らないか

Am G Am
離れたところで 探してみること

Am G C
しゃべっているより ふたりの声か

Am G Am
満たされるんことが わかることもある

DADFAD (オ-7°Dm)

悲しいのなら ここに座って 涙も見ないで 気が楽なわけ
無理に話(し) 必要もない 君を救えるかわかるはずもない

グラスを傾け 後悔したこと

聞かなくても 聞かなくても 気が済むように 言えばいい

大切なことは 辛かったことで

言葉に文字にして 確認すること

ひとごとの様に してしまつて

気持ちも楽になれるときもある

グラスを傾け ひとりでのこと

お互い気にせず 言いたくなければ 言えばいい

大切なことは 自分自身を

離れたところで 見つめてみることに

しゃべっているより ふたりの声か

気がつかないんことが わかることもある

Cape. 0

数え年

D A7 Bm F#m G F#m Em A7

D A7 Bm F#m G F#m Em A7
生まれた時が1歳でみんな違う日だけじゃ

D A7 Bm F#m G F#m Em A7
正月が来るたびみんな同じ日から歳が変わる

Bm F#m Em A7
だから祝おう特別な気持ちで

Bm Em Em G A7
くそれ以外でも新たな年をおかえ

* D Bm G A7 D
願...こめて両手を合わせ Happy New Year's Song

D Bm G A7
最いい人にも届けようよあ " **

D Bm G A7
生きていることは誰でも同じ " *

D A7 Bm F#m G F#m Em A7

D A7 Bm F#m G F#m Em A7
日本の数え年、いったい誰が決めたのだろう

D A7 Bm F#m G F#m Em A7
どしどし人でもどこといっても誰と自分を見比べて

ノーマル - オープンD

Bm F#m Em G A7
争いもやめよう せめて今日だけは

Bm Em Em G A7
できることならは" そのままにいきたいわ

* D Bm G A7
無事を祈って両手を合わせ Happy New Year's Song

D Bm G A7
つらい人にも届けようよあ "

D Bm G A7
生きていることは誰でも同じ " **

D A7 Bm F#m G F#m Em A7

Bm F#m Em G A7
命にせ口はない、全て1から始まる

Bm Em Em G A7
大切なことは みんな同じでいること

(* ~ **)

(* ~ **)

D Bm G A7
どしどし人にも届けようよあ Happy New Year's Song

Caprice 10

白と黒の灯台

$E_m D D E_m E_m D D E_m$

陸の果ての灯台に つかえる思いをこめて

やってきた日は海の色も 黒く静まっていた

曇った空に見えにくくなる 消えている光源に

なくしたものを深さのように 目を凝らすだけだった

雨も降らずに 湿ったまの 薄暗い午後の中

いつかこの時 耐えぬほどの 雨や降りには、なほしい

* おおれしよう こみ上げてしよう

抑えられぬほど そう 何もかもが *

$E_m D D E_m E_m D D E_m$

1-マロ

白と黒の特徴のある ストライプの灯台を

今の心とつたす 支持ちで見つめていた

空にまぎれてゆからなくなる 白色に採られた

黒い部分が 容赦なく 胸に押し寄せてくる

すろっと前に訪れた日は 夏の青い陽射しに

きらめきゆれて 眩しいほどに白と黒が 交差した

* 戻ってこない 古い頃のしあわせ

いたすかなほどに 思っ 起させる *

岸の下には 声を立てずに 低く飛ぶ 海鳥が

打ち寄せてきた (水玉に混じり) やがて見えなくなつた

(* ~ * * * ~ * * * ~ * * *)

Capo. 0

人生

G Em C D G Em C D

^G 遠い ^{Em} 遠い 昔の

^C 僕が ^G 生まれて ない ころ

^G そんな 時の ^{Em} 思い出が

^C 今 ^{B7} わかる だろう か

^C 人間 ^G は 生まれ かわる

^D きっと ^G そう なんだ

^C 何度も ^G 生まれ かわる

^D そう ^G に ちがいない

DADF#AD (2) オープンD DGDGBD (B7) オープンB

G Em C D G Em C D

^G どう ^{Em} せ ^{Em} また 生まれ ころ

^C 今の ^G 人生 ^G の うちに

^G つま ^{Em} が ^{Em} き ^{Em} ころ ^{Em} じ ^{Em} 傷 ^{Em} ついた

^C 失敗 ^{B7} も ^{B7} いい ^{B7} じや ^{B7} あ ^{B7} ない ^{B7} か

* ^C 人間 ^G は 生まれ かわる

^D きっと ^G そう なんだ

^C 何度も ^G 生まれ かわる

^D そう ^G に ちがいない **

* ~ **

かりめたし

C Em An G C Em An G

G D C G
北のはすれの内地に 雁渡し 炊く頃
G D C G
ロシアから渡ってくるマガンの群れたち

C G An G
ねじら求めて北風(の) 天敵から身を守るこの水辺に
C G
タンチョウコウトリ 一緒になったね
An G
おまそ一年ぶりになるかな

G D C G
地響きのような鳴き声 いっせいに飛いたち
G D C G
いくつもの「人」を描いて 夕暮れの中に

C G An G
百羽のマガンが身を寄せあう つかの間のねの 冬期湛水
C G
冷た...雪が降ってもかまわない
An G
土に守られた憩いのひととき

G An C G
市街で見られる 里山 淡い黒に霞んで見える
G An C G
田んぼや畑のあとの 向こう 帯のように 連なり広がる
An G An G
たろに 軽トラみつけるおかげで 人の姿は見かけることもない

C Em An G C Em An G

G D C G
冬のすみか 住みかねぬ 暮に 別れが訪れ
G D C G
日本を離れていく マガンの群れたち

C G An G
ふるさと求めて 南国に 入り 新しい家 夜 増やすために
C G
日本での 食事 美味い かつ かな
An G
水辺で 羽根を 休められたかな

G D C G
地響きのような 鳴き声 いっせいに 飛いたち
G D C G
一面 マダラ の 様に 青空に 溶け込み

C G An G
6万のマガンが 次は 飛いたつ 数ヶ月前の 北の 関東の 国へ
C G
冷た...風が 吹いても かまわない
An G
生まれたところ にならうものはない

G An C G
遠くまで 見られる 里山 淡い 紺に 霞んで 見える
G An C G
わずかに 残る 緑の 向こう 少し ずつ 分けて 見える
An G An G
たろに エンジン 聞こえる おかげで 人の 気配は 感じる こともない

C Em An G C Em An G

あふれるほどに

★ あふれるほどに響くメロデー

今日も眠りから覚める前に

おひん昔を思い出して

今の気持ちに変える ★★

忘れていたあの頃 一枚の画像でよみがえる

つたない言葉を並べ 思いを紡いでゆく

昨日までは何も考えていなかったものが

ゆっくりめぐらすことで かけがえのないものに

でも今はこうすることしかできない、

せめてノートにしたらためてみよう

手のひらのスキマに こぼれてゆくよ

大事な思いが消えるのが怖い、

抑えられぬ感情 一編の記載でよみがえる

覚えのある節を添え 心にとびぬけてゆく

昨日までは少しも 感じていなかったものが

ゆっくりめぐらすことで かけがえのないものに

でも今はこうすることしかできない

せめて五線譜に したためてみよう

手のひらのスキマに こぼれてゆくよ

一瞬のきらめきが消えるのが怖い

(★～★★くりかえし)

曇ったまの頃のひと

ひとすじの光がさすように

おぼれた線り返しの中で

おぼれていくように

Congratulations II (For. S.W.)

G C G D

G Em Am D
今年の春は君にとって

Em Bm C D G
とてもあたたかなものだったんだろう

Em Bm Am B7
そのあたたかさのためにこれからずっと

Em Bm C D
ふたりでいられる喜びを味わってほしい

G Em Am D
あの頃僕達はひとりひとりで

Em Bm C D G
いつもどおり同士で歌っていたね

Em Bm Am B7
雨がかりの頃ステージで緊張を分かちあつた

Em Bm C D
拙い覚えたてのメロディーをギター合わせて歌ったね

G Am D G Am D
ああ友として幸せいのるよああいつまでも歌っているよ

Em C D G
新しいハーモニーをそれぞれの道で

G C G D

G Em Am D
今年の春は君にとって

Em Bm C D G
とても幸せなものだったんだろう

Em Bm Am B7
その幸せを忘れないでこれからずっと

Em Bm C D
ふたりでいられる喜びを味わってほしい

G Em Am D
これから僕達はふたりとふたりで

Em Bm C D G
いつでも声をかければ歌い合えるね

Em Bm Am B7
はてしない生活に疲れたら悩みを分けあつた

Em Bm C D
おたがいの作り立てのメロディーを出しあって歌おうよ

G Am D G Am D
ああ友として幸せいのるよああいつまでも歌っているよ

Em C D G
新しいハーモニーをふたつずつにして